

## 1 実施の概要

次のとおりパブリックコメントを実施しました。

### (1) 募集期間

令和3年12月1日（水）～令和3年12月27日（月）

### (2) 計画（案）の閲覧場所

- ①市役所 観光振興課（第二庁舎3階）
- ②市役所 行政資料コーナー（第一庁舎3階）
- ③各支所の窓口
- ④市ホームページ

### (3) 意見の募集方法

- ①書面での提出（持参、郵送、ファクシミリ）
- ②電子メールでの提出
- ③ながの電子申請サービスによる提出

### (4) 意見募集の案内方法

- ①記者会見 令和3年12月13日（月）
- ②市ホームページ 長野市トップページ「パブリック・コメント（意見募集）」  
観光振興課の新着情報に掲載
- ③広報ながの 12月号「パブリック・コメント（意見募集）」に掲載
- ④意見募集チラシ 計画案の閲覧場所に設置

## 2 募集の結果

市民意見等の募集結果は以下のとおりです。

(1)意見提出者      3名（電子申請 3名）

(2)意見等の件数      6件

(3)提出内容別の件数

分 野	件数
新規事業者の誘致に関するご意見	1
災害復興に関するご意見	4
取組内容に関するご意見	1
合 計	6

(4)案に対する意見等の対応

対応区分	対応方針	件数
1	計画案を修正・追加する	3
2	計画案に盛り込まれており、修正しない	0
3	計画案に盛り込まれており修正しないが、今後の事業の参考とする。	0
4	検討の結果、修正しない	0
5	その他(質問への回答や現状説明)	3
	合 計	6

№	該当ページ	項目内容	意見の要旨	長野市の考え方	計画への対応内容
1	6	長野市の動向 若者世代における 市内観光資源の認知度が低い (図表7)	魅力的な宿泊施設(リゾートホテル、高級ホテル・旅館)が少なく、若い世代に刺さる宿泊施設が乏しいことも一因ではないか。また、旅行客全体の宿泊率の低さにも現れているのではないか。 地域密着で、体験型・知名度のある民間の力やブランド力のある宿泊施設を誘致できれば、若者向けの集客、知名度アップ、宿泊率増加につながるのではないか。	10ページ第2章 第2節「3 持続的に成長していく観光産業の実現する好循環構造の構築」に記載されておりますように、観光客の満足度を高め、市場を成長させることで、新規観光関連事業者の参入を促します。 また、Z世代や若いファミリー層などの若者世代の観光需要を獲得するため、SNS等を活用するとともに、若者向けのコンテンツ開発を積極的に行っていきます。	対応区分5  その他(質問への回答や現状説明)
2	12	第2章 観光振興の目的及び方針 第3節 観光振興の基本方針 8 災害やコロナなど情勢の変化に対応した観光地づくり	災害被災地の復興支援のためにも、災害復興ツーリズムに取り組むべきであることから、文末に次の文章を追加する。「また、令和元年東日本台風により甚大な被害を受けた、長野市長沼地区、松代地区、篠ノ井地区などの被災からの復興の様子を、積極的に発信することにより、災害被災地の支援・復興のためのボランティア活動を促すとともに、災害復興ツーリズムの可能性について検討する。」	本市としましても、被災地域の活性化を目指し、「ホープツーリズム」として、視察の受入や地域の農産物の販路拡大等について地元と連携・協議しながら、実施していることから、 <22ページ> 第5章 第3節 1-1 (1)地域資源を活かしたコンテンツ開発の支援 主な取り組み内容に次の文章を追加する。 「●令和元年東日本台風災害被災地の復興・活性化のためのホープツーリズムの開発」	対応区分1  計画案を修正・追加する

No	該当ページ	項目内容	意見の要旨	長野市の考え方	計画への対応内容
3	31	第5章 重点政策 第3節 重点政策の内容 重点政策4: 快適で安全、スマートな観光を実現する基盤の構築 4-2 災害に強い観光都市整備の基盤 施策(1) 災害など緊急時の対応力強化	東日本大震災の復興地では、災害ボランティア支援団体との連携、災害・復興ツーリズムの取組み事例が数多くあり、地域活性化につながることから、取組み例の最後に、以下の文章を追加する。 「・2019年台風19号被災地の実情と、復興途上の様子を紹介する。」	本市としましても、被災地域の活性化を目指し、「ホープツーリズム」として、視察の受入や地域の農産物の販路拡大等について地元と連携・協議しながら、実施していることから、 〈22ページ〉 第5章 第3節 1-1 (1) 地域資源を活かしたコンテンツ開発の支援 主な取組み内容に次の文章を追加する。 「●令和元年東日本台風災害被災地の復興・活性化のためのホープツーリズムの開発」	対応区分1  計画案を修正・追加する
4	38	第6章 地区別方針 地区別方針3: 松代 ■実践プロジェクトにおいて実施する事業(例)	東日本大震災の復興地では、災害ボランティア支援団体との連携、災害・復興ツーリズムの取組み事例が数多くあり、地域活性化につながることから、政策 1-2 地域を守り、未来へつなぐ観光振興の最後に、次の文章を追加する。 「・台風被災地の松代地区と長沼地区を結びつけるため、千曲川・川下りなど模索する。両地区の被災地の復興の様子を伝える。」	本市としましても、被災地域の活性化を目指し、「ホープツーリズム」として、視察の受入や地域の農産物の販路拡大等について地元と連携・協議しながら、実施していることから、 〈22ページ〉 第5章 第3節 1-1 (1) 地域資源を活かしたコンテンツ開発の支援 主な取組み内容に次の文章を追加する。 「●令和元年東日本台風災害被災地の復興・活性化のためのホープツーリズムの開発」	対応区分1  計画案を修正・追加する

No	該当ページ	項目内容	意見の要旨	長野市の考え方	計画への対応内容
5	42	<p>■市内の主な観光資源</p>	<p>民間の文化施設関係、災害復興関係(災害復興ツーリズム)など次の資源を追加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・善光寺及びその周辺:長沼城跡(発掘中)、長沼地区破堤・復旧箇所、北野文芸座、北野カルチュラルセンター、防災メモリアル地附山公園</li> <li>・若穂:北野美術館</li> <li>・松代:気象庁松代地震観測所、松代駅跡</li> </ul>	<p>民間の施設に関しては、主なものを記載しているため、現状のままとします。</p>	<p>対応区分5</p> <p>その他(質問への回答や現状説明)</p>
6	22 ~31	<p>■重点施策の取組内容</p>	<p>・主な取組内容では「開発」となっているものが多く、具体的な内容が読み取れない。</p> <p>・中央通りの歩行者専用化やトラム敷設を行うくらいの大胆な取組が必要ではないか。</p> <p>〈具体例として〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千曲川サイクリングロードの整備</li> <li>・中央通りを牛の彫刻やストリートアートで飾り、カウパレードを誘致</li> <li>・もんぜんぷら座等にバル街を整備</li> <li>・路線バス「戸隠線」の増便と利用者への優遇</li> <li>・赤地蔵の観光資源化</li> <li>・長野県立美術館で首都圏からの来場を見込める企画の実施</li> <li>・タイをテーマにした観光振興</li> <li>・犀川・千曲川の観光地化</li> </ul>	<p>取組内容については、今後年次計画の中で実現を図っていくものでありますが、既に検討・着手しているものもあります。</p> <p>今回ご提案いただいた具体例につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	<p>対応区分5</p> <p>その他(質問への回答や現状説明)</p>

## 4 市議会からの意見を踏まえた修正点

No	該当ページ	項目内容	意見の要旨	長野市の考え方	計画への対応内容
1	36	地区別方針2:戸隠・飯綱高原 2)実践プロジェクト	ワーケーション等の長期滞在に適した観光地にすることは重要であるが、リピーターも確保することも重要ではないか。	本市としても、リピーターの確保は重要であると考えていることから、リピーター確保に関する記載に修正する。  【修正後】 戸隠を持続的で長期滞在に適した観光地にするため、長期滞在を可能にする仕組み(分散型宿泊、連泊プラン、ワーケーション等)を構築するとともに、戸隠ならではの観光資源の特徴を活かした観光コンテンツを開発することで、戸隠ファンを増やし、リピーターの確保につなげます。	対応区分1  計画案を修正・追加する

## 5 その他の修正点

No	該当ページ	項目内容	修正の内容
1	22～31	第3節 重点施策の内容	各施策に記載されている「取組み例」については、今後5年間の計画の中で実施していく内容であることから、次のとおり修正する。  〈修正内容〉 取組み例 → 主な取組内容